

第2回メディカル・デバイス・コリドー検討会議資料（概要版）

施策の方向性	第1回会議の意見	企業アンケート等	自治体事例等
支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○常勤コーディネーター不在が弱点 ○医療ニーズを伝播する存在が必要 ○医療分野への技術転用、マーケットリサーチ、リスクヘッジの社外評価・知見が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○参入時課題への支援として望むこと …企業マッチング（38%）、法規制指導（27%）、技術支援（21%）が高い （大手メーカーとのつなぎ、専門的な指導、技術活用の目利きができる専門組織、人材の整備が必要） 	<ul style="list-style-type: none"> ○常駐コーディネーター等による専門支援体制 ・静岡県（ファルマバレーセンター） ・東京都（医工連携HUB機構） ○推進協議会設置・広島県 ○企業受入・支援施設・神戸市・東北大学
企業支援の強化	○新規と既存参入企業で格差があることを踏まえ、施策の方向付けを		
①有力企業の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○医療現場人材不足に対応するデバイスが必要 ○センサー系や補助ロボットが有望 ○健康寿命延伸を見据え介護も重要 ○開発は長期間に渡るため、ファルマバレーはクラスIIまでを推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ○本県医療機器市場の成長率は△1.6%（2016～2018） ○総売上高に占める医療分野の売り上げ …10%未満の企業が52%と多い （有力企業の育成策、分野に応じた支援の強化が必要） 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンソーシアムによる競争的資金活用（山口県） ○モデル企業創出による企業への波及効果 ・東海部品工業（ファルマバレー）等
②部材供給の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○部材供給は開発より事業化が速い ○開発は時間と費用が必要、リスク有 ○医療対日投資は多く海外企業誘致、海外展開も重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○保有する技術…精密機械・切削・研磨等の加工技術（各20～30%）が多い ○部材供給の実績 …汎用品（22%）より特注品（48%）が多い ○既参入企業や参入意向のある企業の志向 …部材供給を志向する企業が多い（46%） （本県企業の特徴、志向を生かした部材供給支援が必要） 	<ul style="list-style-type: none"> ○OEM型からODM型企业への転換 ・山梨県成長ものづくり分野支援のための連携支援計画
③参入促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ベンチャーキャピタルの活用も必要 ○地域に医療機器関連産業のエコシステムが形成が望ましい 	<ul style="list-style-type: none"> ○参入時の課題 …市場ニーズ把握（38%）、自社の市場への参入パターンが不明（35%）を挙げる企業が多い （参入意欲を高めるため課題に応じた支援が必要） 	<ul style="list-style-type: none"> ○大学発ベンチャー支援（合同出資ファンド） ・鳥取大学
連携の促進			
④静岡県との連携	—	<ul style="list-style-type: none"> ○企業の取引・連携の実績 …県内企業61%、県外企業が72% ○企業が今後、医療機器等の開発・製造・販売で連携したい機関 …「県外製造業との連携」志向が強い（69%） （今後、静岡県との連携を進める必要） 	<ul style="list-style-type: none"> ○連携項目 ①医療機器ニーズ探索交流会 ②企業情報共有 ③大学寄付講座 ④展示会共同出展 等 ・東九州メディカルバレー（大分県・宮崎県）
⑤医療機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○大学、市中病院で医師の役割が異なるため多くの医師の参画が重要 ○バリエーション対応のため医師のほか、介護、検査技師等の参画も重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業の取引・連携の意向 …病院が21%と低い （医療機関連携を促進する必要） 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関に対するアイデアBOX ・AMEDほか ○企業が臨床現場に入り医療ニーズを探索 ・福岡県飯塚病院
人材育成・情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○県内製造業の医療機器人材養成講座への参加意欲は高い ○医師や企業に協力促進のためメディカル・デバイス・コリドーを認知してもらう必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○未参入の理由は医療機器分野の理解不足が32%と高く、参入時課題への支援として人材育成を挙げる企業が18%と高い （人材養成については継続的な支援が必要） 	<ul style="list-style-type: none"> ○HPによる医療ニーズ、企業等の情報発信 ・東京都（医工連携HUB機構）